

大河ドラマの威力

慶応3年(1867年)旧暦の11月15日、坂本龍馬は33歳の誕生日であったその日に志半ばで暗殺されました。長崎市出身の福山雅治さんが主演したNHK大河ドラマ「龍馬伝」は大きな話題となり、福山龍馬が日本中を席卷した一年となりました。市立図書館でも2階に龍馬に関する本を集めた特設展示を設け、たくさんの方にご利用いただきました。

来年の大河ドラマのタイトルは「江(ごう)～姫たちの戦国～」。

戦国武将、織田信長の妹、お市の方の三女として生まれた江は、江戸幕府の二代将軍、徳川秀忠の正室となったことで、豊臣家に嫁いだ姉・淀君と敵味方に分かれて争うなど、波乱に富んだ人生を送りました。主演は上野樹里で、08年の「篤姫」と同じ田淵久美子の脚本です。同タイトルの単行本は既に発売されています。ドラマが始まるとまた関連図書も発売されて注目を集めるでしょう。

大河ドラマの影響はやはり大きく、長崎も今年は観光客増が見込まれています。これをきっかけに坂本龍馬を好きになった人も多いと思います。ブームが落ち着いたとしても、もう一度、長崎を旅したいと思ってもらえるような街にするために、住んでいる私たちの役割も大きくなっていくかもしれません。図書館からも引き続き情報を発信して、文化の拠点となっていきたいと思っています。



『大河ドラマ入門』
小谷野 敦/著
光文社
H778.8 コ

放送開始から年齢をほぼ同じくする自称“大河マニア”の著者が、原作・脚本から始まり、役者のキャスティング、ドラマの主題曲、時代考証など、あらゆる角度から大河ドラマを論じる。



『龍馬伝』
日本放送出版協会
289.1 サ

幕末の風雲児・坂本龍馬、屈指の経済人・岩崎弥太郎らが生きた時代を史実に沿ってわかりやすく解説。ドラマの登場人物を中心とした人物データ、龍馬暗殺をめぐる諸説、龍馬関連のミュージアムガイドなども収録する。



『江』上・下
田淵 久美子/著
日本放送出版協会
F913.6 タブ

女の戦は生きること。本日只今を生きること。大奥の始まりに至る道のりを、浅井三姉妹の三女・江を主人公に鮮やかに華やかに描く。
2011年 NHK大河ドラマの原作。

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



じゃあ、読もう。

毎週火曜日は休館日です。
(勤労感謝の日)は休館です
12/28～1/4は年末年始のため休館します。

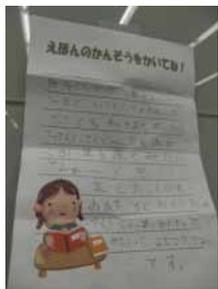


製本講座を開催しました！

昨年大好評だった製本講座を、「親子でチャレンジ！オリジナル絵本をつくろう！」と題して今年も10月3日に開催しました。

子どもたちも保護者の方々も、最高の一冊を作り上げるために夢中になって取り組んでいました。「難しい部分もあったが楽しかった」「子どもの笑顔が見られてよかった」と、充実感に溢れる感想をたくさん頂き、スタッフも開催してよかったと心から思える満足のいく講座になりました。

参加していただいた皆さま、ありがとうございました。



図書館のくんち

今年も10月7・8・9日の3日間にわたって長崎くんちが行われました。町中が活気に満ち溢れ、図書館にもその熱気のままの音や声、空気が漂ってきました。町で、図書館で、賑やかな3日間を多くの方が楽しまれたことと思います。

また、図書館内では2日間、くんちのDVD上映会も開催しました。来場された方々は、くんちの歴史や魅力に引き込まれながら、熱心に鑑賞しておられました。長崎に住むもっと多くの皆さまにこのDVDを見ていただきたいと感じた上映会でした。



人は生活のために働きます。食べるために働きます。誰かのために働きます。自分の夢や希望のために働きます。お金のために働きます。又、目的もな

そして三冊目は『日本人はなんのために働いてきたのか』。政治思想史家である著者が、過去から現在へあらゆる時代と事象を自らの精神で捉え、大胆に理論展開していきます。戦後、食べるために働きつつ、働くことに喜びを見出し、求め、やがて劇的な繁栄を遂げた勤勉な日本人がたどり着いた場所は？著者は誰もが気持ちよく前と上を見て働ける時代を願っています。(司書S)

『SOLARYMAN ソラリーマン』。働く人の代表といえば、サラリーマン。この本に登場する四十人のサラリーマンは偉い人から、派遣社員まで、「働くって何なんだ」の問いに答えています。そして文字通り飛んでいます。何かを語るといふのはとても堅苦しいことですが、彼らの笑顔で飛んでいる写真はインパクトがあり、ばかばかしいながらもかつこよく見えてきます。

『ソラリーマン 働くって何なんだ?!』 青山 裕企/著 ピエ・ブックス 361.8 ア

『地球のハローワーク』 フェルディナンド・プロッツマン/著 日経ナショナル ジオグラフィック社 748 ち



『日本人はなんのために働いてきたのか』 河原 宏/著 ユビキタ・スタジオ 366 力

働くという意味には「はた(傍)をらく(楽)にすること」と言う人もいるようですが、まさに周りの人を楽に、あるいは喜ばせた時に初めて働き甲斐を感じられるのかもしれない。そんな働く意味を教えてくれた二冊を紹介しましょう。

一冊目は『奇跡のリンゴ』です。絶対不可能といわれたリンゴの無農薬栽培を成し遂げた人の話です。そこにたどり着くまでには挫折と苦労、極貧生活を味わうのですが、八年後、見事に奇跡のリンゴを実らせました。



『奇跡のリンゴ』 石川 拓治/著 幻冬舎 K625.2 イ



『働く幸せ』 大山 泰弘/著 WAVE 出版 K589.7 才

この本を読んだ時、私は父を思い浮かべました。辛い時も家族に泣き言一つ言わず働き、今年五十年働き続けた仕事を辞めました。お疲れ様でしたと声をかけた時の笑顔が、この本の表紙にもある木村さんの笑顔のように輝いています。偉大な功績などありませんが、改めて父の偉大さをも感じさせてくれた一冊でもありました。



長崎市立図書館からのお知らせ



「レファレンスサービス」を知っていますか？



レファレンスサービスとは、職員が図書館の資料を使って、皆様の調べもののお手伝いをするサービスの事です。たとえば、このようなご相談をお受けしています。

「探している資料が見つからない」「〇〇に関する本はあるか」

「調べ方の手順を教えてください」…

「本」に関する簡単な問合せにもお答えしますのでお気軽におたずね下さい。なお、医療相談、法律相談、身の上相談、鑑定、宿題や懸賞問題の解答などにはお答えできませんのでご了承下さい。

2階



ハテナマークが目印!



どんなことを知りたいですか？

龍馬について教えてください!

図書館ラジオ♪ 10月のテーマ『笑いあり、涙あり、恋する女』



『愛の幻滅』上・下
田辺 聖子/著
講談社
B913.6 タナ



『愛がなんだ』
角田 光代/著
角川書店
B913.6 カク



『ナラタージュ』
島本 理生/著
角川書店
B913.6 シマ

1 冊目は田辺聖子著『愛の幻滅』。28歳の眉子と妻子ある男・東野の「笑い恋」を通して、恋愛小説の名手・田辺聖子が恋の本質を、鋭く優しく描いています。「目の前の草だけ抜いてればええねん！」をモットーにただ楽しければよかった2人ですが…。山田詠美絶賛の恋愛小説です。

2 冊目は角田光代著『愛がなんだ』。「私はただ、ずっと彼のそばにはりついていたいのだ」—OLテルコの一途すぎる片思いを、濃密な筆致で綴っています。所々笑える要素もありつつ、ラストはなんだか切ない気分になる全力疾走小説です。

3 冊目は島本理生著『ナラタージュ』。“2006年この恋愛小説がすごい!”堂々第1位に選ばれたことで、その名を馳せた若手作家・島本理生の渾身の長編小説(執筆中、腱鞘炎になるほど!)。最初から最後まで気の抜けない緊張感が漂いますが、読後はずっと心に残る作品になり得る1冊だと思います。



毎月第2金曜日午後2時から、長崎シティ FM(81.3MHz)「ウィークエンドライブラリー」で放送中

予約ランキング

予約ランキングは10月15日現在のものです。予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。あらかじめご了承ください。

順位	タイトル	著者	出版社	予約数
1	夜行観覧車	湊 かなえ	双葉社	400
2	プラチナデータ	東野 圭吾	幻冬舎	344
3	小暮写真館	宮部 みゆき	講談社	290
4	あんじゅう	宮部 みゆき	中央公論新社	202
5	1Q84 BOOK3	村上 春樹	新潮社	192
6	母	姜 尚中	集英社	180
7	天地明察	冲方 丁	角川書店	173
8	往復書簡	湊 かなえ	幻冬舎	166
9	1Q84 BOOK1	村上 春樹	新潮社	161
10	小さいうち	中島 京子	文藝春秋	153